健康経営で
働きがいのある職場
新領域へ拡大目指し提案型へ

北日本印刷株式会社
代表取締役社長
川口 秀春 氏

昨年、創業70年を迎えられました。沿革を教えて下さい。

1947年に北日本新聞社の一角を間借りして創業しました。活版印刷がまだまだ主流だった1966年、全国に先駆けて写真植字（写植）システムを導入し、全国から視察訪問があったと聞いています。カラー化、デジタル化が進む2003年には、北陸地区で最初の全自動８色両面印刷機を導入し、短納期にも対応できるようにしました。

一方で環境対応でも、2001年に環境管理の国際認証ISO14001を取得。2011年には水なし印刷システムを導入しました。通常の印刷で必要な「湿し水」と呼ばれるアルカリ水を使用しないため、環境にも社員の身体にも負荷がかかりません。また、水を使わないので紙が伸びず、ズレのない高品質な印刷が実現できます。

2012年に導入したＵＶ印刷機は紫外線を照射することで速乾する特殊インキを使用し、印刷物の乾燥時間がなくなりました。

－技術力と提案力を磨く－

常に最新の技術を取り入れ、環境負荷低減にも積極的ですね。

良い品質を求めて、まずはやってみようということです。印刷機やインキのメーカーさんと一緒に技術開発することで、技術の蓄積になります。将来的に他社が同じ設備を導入しても、ニーズによって技術を使い分け、お客様の思いを形にすることで、選ばれる印刷会社であり続けたいと思っています。また、社員が自由闊達に、誇りを持って働くことのできる会社でありたいと思っています。

現在の課題は何ですか。

以前、活字は印刷会社だけのものでしたが、パソコンや複合機の普及で簡単なものは個人でできるようになりました。また、写真館がカレンダーを作っているように、業界の垣根もなくなってきました。

最盛期は９兆円だった印刷業界の市場規模は、現在４兆円台と言われています。価格競争が激しくなる中で、これまでの受注産業から変わらなくてはいけません。

具体的にどのような事でしょう。

２年前に社長直轄の「ＳＰ（ソーシャル・プランニング）セクション」を作りました。「印刷の仕事はありませんか」という従来の営業ではなく、お客様の製品やサービスに対して、パッケージやノベルティグッズなど、新しい提案をしていこうという部署です。

「情報メディア企業として、あらゆる領域の『より効果的なコミュニケーションづくり』をお手伝いしていくことで、豊かな文化生活と社会の発展に貢献する」という企業理念の通り、色々な業種と関わりのある印刷会社の視点から、お客様の商品やサービスを社会に広めることができるのではないかと考えます。営業マンにも、お客様の思いをキャッチし、新たな発想で企画提案、商品開発にチャレンジしていこうと言っています。

他にも自社開発商品として、「おもしろい富山弁」を印刷した缶バッジやクリアケースなどを作り、北陸自動車道の有磯海サービスエリアでお土産品として販売しています。

新たな広がりですね。

最近はイベントや展示会に積極的に出展しています。富山マラソンには第１回からスポンサーとして協賛し、イベントスペースでＰＲしていますし、金融機関のビジネス展示会や福祉関連のイベントにも参加しました。

色々な人と出会って、情報交換する中から、新しい展開に繋げることと、営業マンが初対面の人から話を聞き出すスキルを身につけることも狙っています。何より私自身ワクワクしています。

－会社が率先して健康づくり－

人材育成についてどのようにお考えですか。

社長に就いてすぐに、全社員と個別面談をしました。率直な考えや意外な一面を知ることができる良い機会で、その後も４回実施しています。その中で、組合からの要望で、定期的に社内巡回を行うようになりました。

また、部署ごとに意識のズレを感じましたので、全体会議も毎年開いています。会社の課題をいくつか与えて、丸一日かけてセクションごと、幹部ごと、全体で、議論し合って考えています。本音を出し合い、社員同士がコミュニケーションをとってお互いの考え方を理解し、それぞれの成長にも繋げたいと思っています。

個々の人材教育に関しては、小さい会社では限度があるので、業界関連団体や経営者協会の社員研修などを利用しています。

女性の登用はいかがですか。

全社員47名のうち女性は23名でほぼ半数、そのうち６名が主任以上の役職に就いています。女性比率は同業の中でも多い方だと思いますが、管理職となると、打診しても辞退される場合があり、今後の課題です。

昨年12月、とやま健康経営シンポジウムで県から「健康づくり企業大賞」を受けられました。

健康保険委員をしていたこともあり、社員の健康の大切さを実感しており、健康は将来的に働きがいのある職場に繋がります。一人一人健康に対する意識が違うので、会社が率先して意識づけしなければいけないと思っています。

特定保健指導の100％実施、階段には消費カロリーステッカーを貼り、マラソン大会やウォーキングイベントへの参加を推奨しています。また、朝礼時には激励する「ペップトーク」を行っています。

一昨年、協会けんぽの「健康企業宣言」のステップ１認定を受け、続けて昨年、経済産業省と日本健康会議による「健康経営優良法人」に中小規模部門で県内初の認定を受けました。

少子化による人手不足が進み、健康で働ける人材がますます重要になってきます。

当社でも今年70歳になる社員が生き生きと仕事をしています。昔ながらのダジャレも職場を和らげてくれています。

座右の銘は。

「為せば成る」。困難があっても、やり続けることで成就する。そういう気持ちでやっています。まず行動しないと何も始まりません。

略　歴

1953（昭和28）年5月生まれ。射水市出身。1972年高岡商業高校卒業後、北日本印刷㈱入社。総務課長、総務経理部部長などを経て、2006年取締役経営管理部長、2009年６月から代表取締役社長。富山県印刷工業組合富山支部長。

会社概要

北日本印刷株式会社

創　　業：1947（昭和22）年4月
所 在 地：富山市草島134-10
資 本 金：3,000万円
事業内容：印刷業
従業員数：47名（2018年3月現在）
ＵＲＬ：http://www.knpkk.co.jp